



## feature interview

# DJ KEN-BO (UBG)

都内や地方クラブでの活躍はもちろん、2002年は海外営業もこなし、HARLEMでは第1、3、5週目のDADDY'S HOUSEや女性入場無料イベントSLOW ROLLとクラブDJとしての揺るぎない地位を確立しているDJ KEN-BOが1年振りに巻頭インタビュー登場です。

■まず最初に1年を振り返って、2002年を通し意識してやってきた事は?

前回のインタビュー(2002.1月号)では、「オレはこういうふうな事が良い」という事を軸にそれを結構広げて行きたいって言ってたけど、2002年はあまり広げられなかったかなって思う。海外に行ったりしたことは確かに一つ先の感じなんだけど、ジャンルを飛び越えてHOUSEとかをガンガンやったりっていうのはあまりやれてなかったかな。HOUSE単体でイベントをやったりはしていたけど、HOUSEはHOUSEみたいになっちゃって、良い感じで有機的に交えられる事がなかったっていうのは悔いは残るんだけどね。REGGAEとかは毎回変わらずに盛り上がるので、そういうのはハマってきてるし、古いものをかけても良い状況とかも生まれたりしてるから、それは良いんじゃないかなって思います。それが当たり前のように思ってるけどホントは徐々に進化してきたのかも知れないよね。

■海外営業でLAに行かれたそうですが、LAの感想は?

1カ所目はハードハウスがメインの箱でそのサブフロアでやって、その後NESTAっていう洋服のブランドがあって、そのヒトシって奴がロングビーチでイベントをセッティングしてくれて、そこは日本人も結構多かったし、人も500~600人くらい入って凄く楽しかったよ。最後はTHANKSGIVINGの前日のパーティー。ASIANが3,000人くらい入って、曲はHIP HOPとかR&Bなんだけど、いわゆるB-BOYの格好とかしてる奴はそんなにいなかったりして、女の子は日本人みたく多かった。HARLEMで見たことあるような感じの女の子いっぱい受けた。でもロングビーチのパーティーが一番面白かったかな。

そのASIANが3,000人くらい居るパーティーは、ベトナム、タイ人、フィリピンや中国とか色んなASIANが居たんだけど、シェイクとか踊ってる人もいないし、格好も特別お洒落な感じじゃないし、とりあえず漠然と居てノリノリで踊ってるんだよね。ある意味「パーティーを楽しむ」って事に関しては向こうの方がみんな楽しんでるんだなって思ったけど、クラブにお洒落して行こうっていう意識は日本の方がレベルが高いのかなって思うし、日本ではDJで箱を選んで行くのはもう当たり前前の事だけど、LAはそうじゃなかった。オレが行った所がそうだっただけでも知れないけど、流行り物をかければいいのかって感じの箱だったりして。でもそれじゃないんだよねオレがやりたいのはって思ったり、色々考えさせられて。日本って凄く進んでる部分は進んでるんだなって思った。どっちが良い、どっちが悪いって言うのは言えなくて、どっちが良いかわからないけど、でも自分は東京でやっていて東京のお客さん達にも慣れているし、みんなと一緒に楽しもうって感じなので、やっぱり東京の方が好きかも知れないな。

LAではやっぱりウエッサイな感じは盛り上がってたよ。ラジオでかかっている曲もWCとかSNOOPだったりマイアムICE CUBEネタの方だったりして、そういうノリが強かったっていうのは間違いないですね。でもモロ西で事でもなくて、勘違いしている人は結構いると思うんだけど、西では西の物しかかからない訳ではなくて、そう思ってる人がいたらそれは凄く間違いない。とりあえず東も西も南も北もさかからるんだけど、西に偏る比率がちょっと高かったりとかなんかそういう感じなんだよね。NYはオレが思うに比較的、そうじゃない人もいると思うけど、どっちかって言うとお洒落な感じがするの。そういう所がオレも好きだし。でもLAはいい意味で凄くノリノリっていうか、踊るぞっていうか、別にふりふりかわらないって感じがする。場所によりそれぞれ特徴があるのを感じますよね。

■LAやNYに比べ東京は?

東京はね、当たり前前に曲かかってみんながワーって盛り上がるけど、そういうのって向こうでは意外とそうならなかったりする。なるところはなるんだろうけど。誰かがワーって言うたり、何人がワーって言うのは聞かせるんだけど、何か凄く上がる曲がかかった時にみんながワーっていうのはないよっていうか。

でもLAには行ったけど全部見てないからまだ違いとか言えないと思うんだよね。ただ自分が行った所はASIANが凄く多くて、日系のオーガナイザーがやってるイベントだったから、それと日本を比べて見ちゃうっていうのは当たり前で、同じアジア人達なんだし。でもクラブの質みたいなのは東京の方がいいのかも知れない。アイツカッコイイじゃん、この子カワイイじゃんっていうのは東京の方が多いかも知れない。向こうは漠然と「うわー」って感じなんだよ。もちろんカワイイ

子もいっぱいいたんだけどね。うー説明しにくいなあ。勢いが違うんだよね。女6人とかで手繋いでクラブに入っていくフロアの真ん中をそれで突っ切っていくってするし。日本もそういう所はあるし、似てる所は似てるし顔も似てるんだけどさ、とにかく女子が凄かった。

■今後も海外営業には積極的にいきますか?

うん、行くつもり。でもさ、その場所の、例えばNYだったらGOLDFINGERだったり、FLEXやSTRETCHやMARK RONSONとかさ、そういう人達はNYに住んでいてそこでやっている訳じゃん。だからオレがNYに行っても東京から来た人って感じて、それなりに人は来るだろうけど、そこでみんなが知っている人にはなれないじゃないですか、絶対に。やっぱり東京の人なので、基本的に東京でやっていくのは間違いないっていうのが海外に行くと改めて思った事で、でも行くとしたら楽しい事見えるし、刺激にもなるので、今後も絶対行きたいなって思う。今年はLAとカナダに行って、これから韓国に行くんだけど、韓国はノリとしてはあまり日本と変わらないだろうなって気がする。LAとカナダは似てたけど、でもちょっと違う。2003年はヨーロッパに行きたいですね。特にロンドンとか行ってみたいです。

■そういう色んな所を見てきて、DJ KEN-BOとしての理想のパーティーは?

フロアが何個あるっていうのがいいかもね。一個のフロアだけでは脂えない部分っていうのが絶対にあるんだろから。HOUSEを上手く混ぜる事が今年はそんなに出来なかったって言うんだけど、それが結構当たり前前の事なのかもしれない。それを出来る環境とかお客さんとかではないと、ちょっと難しいかなって。そういうお客さんだったらいいと思うの。例えばこの前5時間営業を渋谷でやったんだけど、その時途中HOUSEを何曲かかけたのね、でもひかなかったの。それはオレがHOUSEをかける事をわかっていて、オレがやる時間に来てるんだ。この時間どうせHOUSEもかけるんでしょっていうつもりで来てると別にひきまひき、でも逆にDADDY'S HOUSEとかでやっちゃったらひくよね、やっぱりそれはしょうがないなって思うんだ。でもやっぱり色んなジャンルの人が集まる場所っていうのはオレは一番理想だと思うから、それが凄く有機的なつながりを見せればいいと思うので、やっぱりフロアが何個あるようなクラブ、昔のGOLDの21世紀バージョンみたいな大箱があるといいですね。

あとは前から言っているけど、LOUNGE的な事をもっと提示していった方がいいと思う。そういう音楽がかかっている所で飲むみたいな。もちろんそういう所はすでにあるんだけど、もっとこだわってちゃんとしたDJがやって、すごい雰囲気良く、お洒落しないし入れませんとかそういう所があるといいなって思ってますけどね。ワインとかシャンパンとか飲みつつ優雅にDJとかしたいですよ。僕も、たまには(笑)。

■最近のDADDY'S HOUSEは?

DADDY'S HOUSEはずっと長くやってるイベントで、もうオレが入ってるって事はみんなわかっているんだろうけど、毎週やっているのと勘違いしている人が今でもいるので、それは違います。第一、第三、第五です。

■毎月2木曜日のSLOW ROLLは?

SLOW ROLLはとりあえずレディースフリーという事で、媚びたり媚びなったり突き放したり近寄りたりするっていうような選曲(笑)でやっているって感じだけど、実際ホントにお金がなかったりとかシリアスな問題がある子も来てる楽しかったらそれでいいと思うけど、このイベントはそれだけで充分かな。お客さんも毎月微妙に違うし、コレだっていうのがないというか、とりあえずオレとJr.がDJしてるっていう感じがな。でもみんな楽しんでくれてるっていうので、歌声がやけに黄色かったりして、「おーおー」とか思っちゃいます。たまに(笑)。

■2002年1年間の営業全体を地方も含め振り返って。

ホントあつという間に終わっちゃったって感じだよ。凄く早かった、年取ったのかなあ(笑)。釣りもね、釣り人生始まって以来から行っていないかも知れない。タイミングがズレちゃって。でも釣り関係の媒体に出たりとかはしてるんだよね。そこがなんか変な矛盾で、でもそういう事もあるしねって感じで。でも釣りは行きたくない、寒くても。時間があればいつでも行きたいですね。

営業全体で思うのは、前からそうなんだけど、若いオーガナイザーとかって一生懸命お客さんを集めるよね。それは凄くいいなって思うんだよね。例えば全然このイベント知らないよみたいな所に初めて行ってDJをやる時に人が凄く居てビビっちゃうみたいのがあったりして、だからそういう若いオーガナイザーとか月1でやりたりして



る子とかいるけどさ、人をちゃんと集めるし、凄く頑張ってますよね。

でも若いDJの子達でメジャーなパーティーでその人がやるから人が集まるみたいなのがまだないよね。そういう若い子達が出て来ないのはつまらないんだよって言うのがあって、前にも言ったけど、一生懸命やって追い越して下さっていく感じなんだよね。ターンテーブルだとかKENTARO君が世界一だったりして凄いなって思うわけ。クラブDJは、正直な話しあんまり変わってないじゃない? メンツが。だからもっと若い子達に出てきて欲しいんだよ。色んな所に行くと、結構この子は回せまるとか良いじゃんっていう子もいるから、どんどん色んなパーティーで回して欲しいなと思います。週末は自分のDJがあって他のパーティーを見に行く事がなかなか出来ないんだけど、そろそろ意識的に他のパーティーにも行ってみようかなって思ってます。そこでオレが見つけてフックアップするとかそういうレベルじゃなくてオレが「コイツ良かったよ」って誰かに言って、使ってもらえたりする事があったらいいと思うしね。あとはやっぱり女の子のDJかな。前より増えてるけど、「この人!」っていうような人がいたらいいんじゃないかな。KAORIちゃんがNYで成功したように、そういう風になるんだよ。そういう人は今いないからね。地方に関しては場所によって差はあるけど、色んな意味でだいぶ良くなってるとは思いますよ。

■2002年で印象的だった出来事は?

衝撃的だった事はね、歌謡曲のイベント(申し訳)に行ったんです。あれは凄いな。日本でやっている中で一番衝撃的なパーティーだった。モーヤがけこう居て、ハロプロ系の曲がかかり出すとすごい勢いでフロアに飛び出してって歌い出すんだよ。それでまた宇多丸師匠がCDJで思い切りかける訳よ。その人ホントにRHYMESTERの人? みたいな(笑)。そのイベントの人に「これウケルね」ってオレが結構肯定的な感じに接したら、今度やってっていう話になって、実は1回やったんだよ。そして今度はそのイベントのTシャツも着てやって下さっていく言われたんだけどさすがにそれは出来ませんでした(笑)。そういうのを見て、色んな所に色んなクラブカルチャーがあるんだっていうのを再認識しましたね。そういう意味では今年は色んな物を見たって事かな。ホント色んなのがあるし、実際ミーハー箱とかも人は相変わらず入ってるじゃん。それはそれでいいんだけど、でもオレはオレでやっていくし、オレの好きな曲聴いてみてくれない? って感じかな。出来るだけ楽しい形で、自分がやっていて楽しくて、お客さんも楽しくてっていうのが大前提で、それでいて今まではまたちょっと違って、そういう事が出来ればいいと思いますよ。昔GOLDとか行ったけど、そういうような所があって、一個の箱で色んな所が見えたりして、こういう奴もいるんだっていうのもわかるし、そういうのは知った方がいいと思うんだよね、絶対。B-BOYとかB-GIRLって結構頑固な奴が多いというか「オレはコレ」って決めちゃっている奴が多い様な気がするの、「そんなに決めでなくてもいいじゃん」っていうことで。

■メッセージと今後の予定は?

クラブを作っているのはお客さんもそうなんだよ、っていう事かな。来ている人が「どこか面白い所ない?」って言うんじゃないかって自分が行っている所が楽しくて、みんなが楽しくて、そこに入っていきような感じの気持ちでクラブに行っただけがきつくないんじゃないかなって思うんだよ。凄く当たり前の事言ってる気がするけど、いつも思うのは、みんなDJとかでクラブ選んで、この人が回してるから間違いないんだって来てくれるの、それはそれでDJの人は嬉しいんだけど、そこでやっぱりお客さんが居て、お客さんがワッとあがってくれてDJもあげられてどんどん盛り上がって楽しくなるっていう形が一番あるのだからそういうパーティーにしていきましょうっていう事ですね。だから、「早くこの曲から出来ないかな」じゃなくて、お前らが早くフロア出てきて踊り始めて温まって来たらオレはかけてやるから早くするって感じなんだ。待ってるんじゃないよ、曲を。

あと東京は全然イケてるよ。実際、LA行って思いました。女の子はカワイイので平気です(笑)。LAから帰って来て東京のクラブに行ったらホッとしたもん。

あとは日本語かけたいな。かけたんだけど、やっぱり相変わらずあんまりないんだよ。例えばビデ(ZEEBRA)一人で頑張っても前と変わらないじゃんっていう話なんだよね。それでDEF JAM JAPANが頑張っていれば良いのだからそういう事じゃなくて、今一般的に売れている奴らがそういうのをビシッと作れと言いたい。チャライ曲が多いのは明かだからさ、どう考えてもこれ踊れるかって言ったら踊れないよ、みたいな。だったらBOAの方がいいじゃんっていう話になるの。普通にBOAとか宇多田ヒカルとかクラブでかけても良いのがないんだよ。それは顔が堅いとかリリックがどうだっていう以前に、聴いてみて「これかけてもいいな」って思えるものがないっていうか。逆に言うとM.O.S.A.D.とか、戯鬼レインジャーとか、一聴でリリックは聴き取れないけど「これはかけたいな」って思うんだよ。なんで売れてる奴達がホントにフロアっぽい作らないのか不思議。OLD SCHOOLちっくな事はやっぱりするけど。でもそういうものなんだろうな。わかんない、その人達の音楽性だからここでは何とも言えないけど、オレは日本語をかけたしね、やっぱり。オレがビビっとくるもの作って下さい、お願いします。

それと2月にNAKAMA RACINGの曲が出ます。それはオレともう2人の3人でプロデュースして、マイクはもちろんNAKAMA RACINGのメンバー達。メンツはAKTION a.k.a 蔵人、OJ & ST、C.J、JUNNOSUKE、BOY-KEN、MACKA-RUFFIN、ZEEBRAというクラブ。あとは同じトラックでジャマイカのKARIANGのアーティスト達が一緒にやっているのが入って、2/26にMAXIが出るっていう事になってます。それと夏にかけて色々やらないといけなこともあるんだけど、それは追々という事で。 [E]